

掛合町地域自主組織連絡会議と市長との意見交換会

【日時】

令和5年8月9日(水) 19:00~20:52

【会場】

掛合交流センター

【参加者数】

21人

■意見交換 テーマ：「掛合の将来について考える」

ご意見) 農業法人を立ち上げて年数が経過したが法人の将来を考えると先が見えない。若い方は勤めがあり今は70歳くらいまで勤める方が多く法人で活動してもらえない。80歳くらいまで頑張らないといけない。労働力確保が課題であり季節毎に少しずつ働いてもらうような、柔軟に使える制度、タイムリーに派遣してもらえるような形態を望む。

市長) 特定地域づくり事業協同組合 ワークアラウンドうんなんを去年立ち上げ、今年から1名採用した。人が集まってくれば来るほどよい。3名くらいは確保したい。飯南町もこの方法でかなり労働力を確保している。冬はスキー場に勤務し、通常は農作業を行っている。

ご意見) 荒れた田が多い。昔からのやり方でやってきたが1人ではなかなかできなくなり荒らしてしまっている。圃場整備をした所も山間地の田であっても代わりの耕作者の確保も難しい。今後さらに高齢化により地域で耕作をして暮らしていけるのか悩みながら暮らしていかないとけない。

市長) 市内どこも同様な状況があり課題である。その中で放棄地をなくし担い手を持つと非常に大きな法人を作り、若い人を雇用し耕作放棄地を吸収して体制を整えている地域はある。

吉田、鍋山、寺領で圃場整備をやっている。特に水稻はある程度大規模化し維持を図らないといけない。菌床シイタケの例のように狭い範囲を個人で儲ける方法もあるが、ある程度面的に考える必要がある。ある程度大きくして、担い手をつくる。水の管理は技術が進歩している。現場を見に行かなくても管理できるやり方をテストしている。稲作の技術も進歩しており今後の体制整備がポイントとなってくる。

ご意見) 国や県は法人化や組合の大型化を進めているが、この中山間地域ではなかなか難しい。ただ、横の連携が必要だと思う。市内には法人・営農組合が10くらいあるはずだが機械は高額、組合員も高齢となると隣の営農組合同士が繋がって耕作放棄地を出さないことが大事。荒れると獣害対策に手を取られてしまう。

耕作放棄地を利用して蕎麦を作り、収穫祭などもしているが5年に1回は田として水を張らないと国から補助金がもらえなくなった。

市長) それぞれの営農組合等の単位でやらざるを得ない。法人を残しながら、それを束ねる法人をつくることできる。地域の活動をしながら束ねる法人が取り組みやすいのではとイメージしている。水張りの件は国に対し要望している。

国としては畑地化を進めようとしている。この補助金は渡しきりで、継続的な支援にはならない。財

務省は直接支払制度に後ろ向きだが、継続する必要がある制度と考えている。要望していきたい。ウクライナ問題等世界情勢が流動的な中で食糧の安全保障という言葉が出てきている。食料自給率を上げることは有事の際に国民が飢えないための政策、農村維持の施策を国として進めていく必要があると考えるので要望していきたい。

ご意見) 隠岐島前の3町村には就労型のお試し移住制度があり、特に若い人を呼び込む成果が出ているという。一定の報酬もあり期間も3カ月、1年と試しに移住者が入りやすいやり方。人手不足の解消にもなるのではないかと思う。雲南市も取り組んでみてはどうか。

掛合中の生徒が相撲全国大会へ行くが、主力メンバーがみな多根の生徒。くにびき国体では掛合町は相撲会場であり相撲が盛んな土地柄、育成できる方法があるといいと考える。

邑智(カヌー)や横田(ホッケー)からも全国大会で活躍する人が出ている。きちんと相撲を続けられる仕組みがあるといい。島根中央高校は女子の野球部を創り全国から生徒が集まっているという。掛合中学校や掛合分校も同じような取り組みをしながら子どもを育てる地域となるといいと考える。

市長) お試し移住をぜひやりたい。地域おこし協力隊制度は今年度だけで5名程度採用予定。起業型、林業、有害鳥獣の専門の方を1年間で4名任命した。これらの動きを見ながら支援の体制をつくるために指導者育成に取り組み、お試し移住も行いたい。そのためには移住者の家や仕事が必要であり地域の皆さんの協力が必要である。

中学校の相撲について先日来庁いただき激励した。これからの部活動については学校に所属しながらの活動が非常に難しくなる。今回、柔道で全国大会へ行く加茂と木次の生徒は一緒に練習しており競技人口少ない競技はそうになっていく。やりたい子が続けられるサイクルをつくり社会スポーツとしてつなげていきたい。レスリングは地元だけでなく出雲や松江からも来ている。ベースとなる「まずはやってみよう」という社会体育の仕組み、高校の魅力化の中で位置付け、活用ができればと思う。これからの小中学生は複数の競技をするようになると思う。いろんな体験をしながら、自分のやりたいものを見つけてほしい。

ご意見) UI ターンにしても、外部から人を受け入れるには地域の寛容性が非常に大事。住んでいる人が自慢できるような地域であれば日頃の活動も活発になる。地域の活動に対し助成を検討してほしい。合併時に地域に特化したまちづくりと言われていた。特化した地域づくりとは例えば高齢者福祉施設に特化した集約化ができないか。高齢者施設があれば勤める人も来る。掛合の向こう10年で企業が来ることは考えられない。福祉施設を呼び寄せるような施策が検討できないか。

市長) 「寛容性」重要なキーワード。地域の皆さんが楽しく生き生きと活動できること検討したい。自治会付き合いは避けたいという方もいる。どう巻き込んでいくか。例えば外国の方など価値観の違いの方とどう共生するかが課題。

福祉施設について、雲南市全体で要介護認定者は今後それほど増えていかない。新たに施設を設けることは難しいのではないかと思う。中には職員がいいためベッドを空けている施設もある。いかに介護職員の待遇をあげ、人材を確保するかということが必要。福祉施設の整備は現時点では厳しい。ただ、高齢者の中で独居では暮らせないが、施設に入るほどでもない高齢者が子どものところへ

行ったり、松江・出雲のサービス付き高齢者向け住宅へ移動する現象あり。市内ではサービス付き高齢者向け住宅は大東だけにある。診療所とセットであれば高齢者が集まり受け入れるやり方はできるのではないかと。サービス付き高齢者向け住宅は民間投資なのでどのような進め方となるか検討が必要。

掛合町の特色ということでは、田部竹下酒造が「発酵」に関し取り組んでおられる。

人口が減少するということは畜産をやり易くなるとも言える。牛を飼える場所があれば、新たな就農を誘導しやすくなりそれをベースに6次産業化など一つの産業の柱になるのでは。

ご意見) 学校について子育て世代は不安に思っている。市長は「基本的に学校は統合しない、部活動は市全体で社会体育としてやる」と言われたが子どもの送迎や地域の指導者の課題がある。先生も多忙で部活動の専門でない場合もあり大変。地域指導者も平日4時・5時から指導できる人がいるのか。例えば市役所職員に業務として指導を行ってもらってはどうか。部活動の地域移行の動向を保護者に適切に伝えないと部活動のために転居されることがある。小中一貫学園化構想も最近では情報がなく不安に思う。

市長) 2年前から部活動の地域移行に取り組み始め、県内でも早期からの取り組み。今後発展していくためには生徒の送迎が一番の課題である。地域指導者の募集をしたところ40名以上の登録があり他市町より多い状況。指導者研修も進めていく必要がある。部活動は学校教育の下にあるが、地域移行は生徒に関し学校と連携していくしくみが必要である。地域移行について周知に取り組みたい。

大東の海潮中学校統合について、海潮小学校は児童数があるが、中学校は野球部がないために大東中へ行ってしまう現状がある。対策が追いつかず残念に思っている。その上で地域指導を有償にするのか無償にするのかという課題がある。そうすると市職員だけ仕事でやるのはいかがかと思うが、人材の宝庫という考えもある。職員が地域で人材として活用できる環境整備に取り組みたい。

ご意見) 部活動について、学校を残すといっても残らないことが一番怖い。現在部活動のため他町の中学校へ入学するケースがある。クラシック島根カントリークラブが閉鎖後獣害の巣窟になるのを心配している。部活動のゴルフを指導する場として活用ができないか。維持は大変だが一部のコースだけを使うとか。また、掛合中吹奏楽部が中国大会に行くが指導者により子ども達が変わることを感じている。良い先生が掛合にいて他町から生徒が掛合中に来てもらうといい。

市長) 生徒が来るような成績の部活動には長い歴史がないと難しい。地道な活動があり全国につながる。指導者を育成する必要がある。掛合には相撲を教えられる方が結構おられる。

クラシック島根カントリークラブの件。当時掛合町で作られた重要なものだった。経営の問題から民間へ第2、第3と所有権が移る中で思いが継承されなかった。現在は東京の会社が管理している。市は存続して欲しい交渉したが折り合わなかった。会社へはしっかりと管理し地域に迷惑をかけない、その上で次の使い道を考えて欲しいと要望している。またアイデアを伺いたい。

ご意見) 掛合に家を建てたご夫婦がいる。理由は土地代が安いからとの事。集荷場や給食センター、旧小学校も解体されるので住宅地とし安い価格で分譲すれば、購入希望者が多くあるのではという意見が地域にある。三刀屋町方面から購入希望者もあるかもしれない。

市長) 掛合における分譲宅地の必要性は感じており、掛合の中心地で土地開発公社において検討を進

めており具体化すればお話ししたい。掛合体育館もご不便をおかけしている。コンクリートの劣化は少なかったが、耐震診断したところ吊り天井が落ちる可能性が高いとのこと。掛合分校も生徒の安全を第一に考え、掛合小中の体育館を使っている。体育館の耐震工事を行うよりも建て替えの方向で現在検討中。掛合体育館周辺地域を再開発するという視点で話を進めていきたい。

吹奏楽部には加茂のマスターズプロジェクトでレッスンを受けている生徒もいる。地域活動にするということはレッスンを受けにいたり、また指導者の質も上がる面がある。柔道や相撲を掛合で習うということもあるのではないか。

ご意見) 飯南町では高校までの医療費の無償化、新生児の紙おむつ配布、家賃や水道料金の減免もあるとのこと。

自治会の高齢化に伴い草刈りが負担。市職員が市内に在住すると少しでも人口が増えるのでは。

市 長) 医療費の無償化と通学費について、国の施策との整合性を取りながら考えることとなる。

医療費一番かかるのは新生児の頃。どれくらいの財源が必要か試算し検討したい。

通学費について飯南町はスクールバス。市は路線バスで運用している。今後高校の魅力化を進める中で木次線も含め考えていきたい。生活費の助成については国等の児童手当の拡充をみながら検討する。草刈りは今年度制度を拡充した。草刈りの負担は地域課題であるが全部市でやるとなると財政は破綻することとなり地域に引き続きお世話になりたい。個別課題は総合センターへご相談を頂きたい。市職員の市内定住については職員にも様々な事情があり、かなりの職員が市外に住んでいる。他市町も同様な状況がある。

ご意見) 私は保護者世代で娘が吹奏楽部に所属している。ラメールでの合同練習により他校に友達ができバスの手配もしてもらって助かっている。他の競技に関しては保護者の負担が大きく親の覚悟がないとできない。送迎を検討してほしい。水泳も特化したスクールあるが、親の都合がつかないというジレンマがあり近くへ引越してしまう。掛合町は剣道が盛んで松笠でも若い人が指導しており、部活にしてもらえるとよいのでは。

土地について、耕作放棄地や空き家対策の課題が取り上げられてないと思う。農業に興味がある若者は増えていると感じている。土地の循環(有効活用)のための情報提供と共有。空き家を手放さない方も多く松笠で人口を増やそうと思っても空き家はあるが住むところがない。出身者の方も少ないので増えようがない。Iターンの方が増えるよう情報提供を。

クラシック島根カントリークラブについて、ランニングコースや牛を放すなどしてはどうか。

市 長) 部活動送迎についてはご意見のとおり。どうやって保護者の負担を減らすかが重要。

吹奏楽部については、キラキラ雲南が車両を所有していたので送迎できた。バスケ・野球に展開する場合しっかりしたしくみが必要であり研究中。なかなかハードルは高いが何とかしたい。

剣道は中学校に部活がなくても地域でやっていたら、全国大会へ出られるように制度変更となった。そうした形が望ましいのではないか。剣道・空手など個人競技で地域に大きなクラブをつくるのは難しい。競技によって大人数で練習したり、競技や地域に応じた柔軟な形を目指したい。松笠で頑張っていれば全国大会に出られるというような形。競技人口を増やすことは非常に難しい。

市では農地バンク・空き家バンクを運営しているが、周知していかなければならないと思っている。

空き家について、寺領地区は空き家の確保が上手。空き家になりそうな段階で借り手を探すなどの取り組みを地域で行い、話をまとめておられる。空き家の情報はなかなかアンテナにかかって来ない。助成制度はいろいろあり傷む前に悪循環とならないように次の方につなげていく形をみなさんと考えたい。

ご意見) 障がい者福祉について。現在市内小中学校特別支援学級に150人通っているとのこと。最終的には就職のことが心配。市内にB型事業所は多いがA型が少ない。尺の内の農園もあるが、掛合のハウスが空いているので就職先を作ってあげて指導力のあるおじいさん、おばあさんに協力してもらおうというアイデアはどうか。障害のある子どもの就職先を考えてほしい。一般の子は試験を受けて受ければ就職できるが、特別な支援が必要な子は実習や関係性作りが必要となり就職先が多い方が良いと思う。スペシャルオリンピックスなどで係わる機会が多いのでより大事だと感じている。

市長) 障害のある子ども達の将来、安心して働ける場の確保必要。農業・畜産・6次産業は親和性が高いと思う。事業実施には主体が必要であり福祉事業の拡大、展開をしてもらえる方を探したい。掛合の中でもノウハウがあるうちに食品加工を障がい者の雇用や道の駅の使い道、そして製造販売などの可能性もあるかとは思っている。6次産業に可能性があると思っている。

ご意見) 波多は地域全体が福祉施設ととらえている。施設をつくるのではなくて地域全体が福祉施設のように感じながら過ごせればよいのではないかと思う。マンパワーの悩みはあるが近づきつつあると思う。空き家になる前からバンクに登録するのも良い方法と思う。空き家を地域の財産として引き継げるといい。飯南町の何年間か住めば自分の所有となる制度も良い。掛合町に住んでほしいという思いがある。避難情報レベル5になっても動かなくてもよい、安全で安心な地域であれば定住が進むのではないか。

市長) しっかり検討したい。ぜひ入ってもらえるような案を考えたい。

ご意見) 強みといえば掛合はUPZ圏外。体育館、分譲地はお金がかかる。田部竹下酒造前の街並みの整備、吉田や大社の神門通りのようなになれば良いと思う。
UPZ圏外での財源確保。ストーリーが繋がれば良いと思っている。

市長) 原発について1回限りの交付金として期待はしている。今後も要請はしていきたい。掛合の街並みの整備などは地域の皆さんに絵を描いてもらい要望を頂かないと動けない。今後の位置づけ絵が描ければやりたいという思いを伝えてほしい。地域の皆さん方の前向きな発想をお願いしたい。

ご意見) 交流センターについて。65歳以上の方が勤められる程度の賃金で始まったが10年経ち賃金が上がってないので勤める人がいない。市からの仕事は増えるばかりで地区外から雇用する際に賃金が低く人材確保が難しい。大東や木次のように人口の多い所はいいかもしれないが、人間では人がみつからない。少しでも賃金を上げてもらいたい。

市長) 地域自主組織への交付金算定の基礎となる単価は充分でないと思っている。昨年、基準の改定をした。会計年度職員以上の正規職員並みとなると議論があると思う。検討していきたい。